

職務経歴書の記入上の注意

項目	記入上の注意事項
受験資格に算入できる職務経歴の通算在職年数	<ul style="list-style-type: none"> ・記入した職務経歴のうち、受験資格に該当する職務経歴（同一企業・団体等において1週間当たりの所定労働時間が20時間で6か月以上継続就業）について、除外年数を差し引いた在職期間を通算し、その年数・月数を記入してください。30日に満たない場合は、切り捨ててください。 ・在職期間の月数及び日数は、合算することができます。 （例）7月+7月=1年2月、20日+20日=1月10日
所属部署・役職	<ul style="list-style-type: none"> ・同一の企業等であっても、部署や担当業務が大きく異なる場合には、職務経歴を分けて別の欄に記入してください。部署や役職に変更があっても、一つの欄でまとめて記載できる場合は、分けずに記載していただいて構いません。
在職年数	<ul style="list-style-type: none"> ・在職期間の始期から終期までの年数・月数・日数を記入してください。算定に係る基準日※は、採用選考案内を確認してください。 ※今回の選考では2026年3月末
うち除外年数	<ul style="list-style-type: none"> ・在職期間のうち、休暇・休業・退職等のため、3か月以上継続して職務に従事していない期間（産前産後休暇を除く。）は職務経歴から除外されますので、除外となる年数・月数・日数を記入してください。
除外理由	<ul style="list-style-type: none"> ・「育児休業」「病気休職」など、理由を簡潔に記載してください。
勤務形態	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務形態については、該当する箇所に「○」を記入してください。 ・フルタイムとは、正社員・正規職員と1週間の所定労働時間が同一の勤務形態を指します。 ・パートタイムとは、パートタイム労働法の適用となる、1週間の所定労働時間が同一の事業所に雇用される通常の労働者（正規職員）に比べて短い勤務形態を指します。 ・パートタイム及びその他の勤務形態の場合は、期間内における1週間当たりの平均勤務時間を記入してください。
受験資格への該当 (週20時間以上かつ 6か月以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・記入した各職務経歴について、受験資格に参入できる職務経歴（同上）への該当の有無を「○」又は「×」で記入してください。 ・受験資格に該当するか否かの詳細については、採用選考案内で確認してください。
※その他の注意事項	<p>最終合格後、職務経歴期間の確認のため、職歴証明書等を提出していただきます。必要な職務経歴の年数を満たしていない場合は、採用されません。</p>

([現在又は直前]の職務経験) 7年9月 + ([その前]の職務経験) 5年1月15日 = 12年10月15日

→ 30日未満は切り捨てるため、

「受験資格に参入できる職務経験の通算在職年数」は12年10月となる

職務経験の記載例

受験資格に算入できる職務経験の 通算在職年数	12	年	10	月
---------------------------	----	---	----	---

[現在又は直前]

勤務先名称	C株式会社	所属部署	総務部人事管理課
勤務先の 所在地	茨城県日立市	役職	主任～係長
在職期間 (西暦)	2018年7月1日から 在職中	勤務形態	(○) 正職員 () フルタイム (正職員以外) () パートタイム (週 時間勤務) () その他 (週 時間勤務)
在職年数	7年9月		
上記のうち 除外年数	2026年3月末現在で記載		
除外理由		受験資格への該当 (週20時間以上かつ6か月以上)	○
従事した業務内容及び実績・成果	採用担当としてリクルート活動の企画、採用選考の実施、新入社員の研修を担当。優秀な人材採用に向けて〇〇〇の見直し(具体的には〇〇〇)、〇〇〇〇の新規実施に向けた社内調整等に尽力した。〇〇〇の成果を挙げた。研修においては、〇〇〇。		

(在職年数) 6年2月15日 - (除外年数) 1年1月 = 5年1月15日

→ 5年1月15日の職務経験を参入可能

[その前]

勤務先名称	B株式会社	所属部署	〇〇〇支店(営業担当) 営業企画部営業第2課
勤務先の 所在地	茨城県土浦市 茨城県水戸市	役職	主任
在職期間 (西暦)	2012年4月15日から 2018年6月30日まで	勤務形態	(○) 正職員 () フルタイム (正職員以外) () パートタイム (週 時間勤務) () その他 (週 時間勤務)
在職年数	6年2月15日		
上記のうち 除外年数	1年1月		
除外理由	育児休業	受験資格への該当 (週20時間以上かつ6か月以上)	○
従事した業務内容及び実績・成果	〇〇〇支店在職時は営業担当として、〇〇〇〇〇。〇〇〇〇を達成し、〇〇年度の社内表彰を受賞した。 その後、本店営業企画部に異動となり、〇〇〇〇を担当。〇〇〇〇が課題になっている中で、〇〇〇〇に取り組み、〇〇〇〇の成果を得た。		

[その前]

勤務先名称	A株式会社	所属部署	総務部経理課
勤務先の所在地	東京都千代田区	役職	なし
在職期間 (西暦)	2011年4月1日から 2012年3月31日まで	勤務形態	<input type="checkbox"/> 正職員 <input type="checkbox"/> フルタイム(正職以外) <input checked="" type="checkbox"/> パートタイム (週 24 時間勤務) <input type="checkbox"/> その他 (週 時間勤務)
在職年数	1年		
上記のうち 除外年数	7月		
除外理由	病気休職	受験資格への該当 (週 20 時間以上かつ 6 か月以上)	×
従事した業務内容及び実績・成果	事務補助員として〇〇〇〇や〇〇〇〇に従事した。〇〇〇の効率化に向けて、〇〇〇〇の導入を実現した。		

(在職年数) 1年 - (除外年数) 7月 = 5月

→ 受験資格に該当する職務経験(同一企業・団体等において1週間当たりの所定労働時間が20時間で6か月以上継続就業)にあたらぬ。